

【プレスリリース】

2026 年 8 月 18 日

報道関係各位

LG、日本市場向けホテル TV ラインナップを拡充
 硫化対策を含む高耐久設計を採用したホテル TV「UJ660H」を発売、
 ホテル運営の効率化と安定運用を支援

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社

LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社(代表取締役:孫 成周(ソン・ソンジュウ) 本社:東京都中央区)は、このたび日本市場向けホテル TV ラインナップのさらなる拡充を目的に、高耐久設計とホテル向けソリューションを標準搭載したホテル TV「UJ660H」の取り扱いを開始します。

本モデルは、当社のホテル TV が従来から採用しているコンフォーマルコーティングに加え、硫黄ガスによる腐食への耐性を強化した独自コーティングを新たに採用。都市部のホテルや旅館はもちろん、海岸沿いのリゾート施設、温泉地や火山周辺地域など、さまざまな環境に対応します。

また、多彩なコンテンツへのアクセスとホテル運営支援機能を実現するスタンドアロン型ソリューション「Pro:Centric Hub」を標準搭載。ゲストは、Netflix や YouTube などの多様なエンターテインメントコンテンツに簡単にアクセスできます。

当社は今後も、日本市場の宿泊施設ニーズに寄り添った製品・ソリューションの展開を通じて、ホテル・旅館事業者の持続的な運営とゲストエクスペリエンスの向上に貢献してまいります。

なお、「UJ660H」を含む当社のホテル TV 製品およびソリューションを実際にご体験いただける宿泊施設関係者向けのイベントを、2026 年 10 月 23 日(金)に TAKANAWA GATEWAY Convention Center(東京都港区高輪)にて開催します。



【日本市場のさまざまな宿泊施設ニーズに対応し、ホテル TV 事業を強化】

近年、宿泊施設においては、インバウンド需要の拡大や宿泊体験価値の向上を背景に、客室設備への投資が進んでいます。客室テレビも単なる映像視聴機器ではなく、館内案内や各種サービス情報の発信、エンターテインメント体験の提供など、ゲストとの重要な接点としてその役割が拡大しています。また、ゲストによるスマートフォンやタブレットの利用拡大に伴い、柔軟なコンテンツ管理や情報発信機能へのニーズが高まっているほか、宿泊施設の DX 推進により、運用効率化とセキュリティ対策の重要性も増えています。

一方で、施設の立地や環境によっては電子機器への負荷が高く、長期安定運用や保守負担の軽減が課題となるケースもあります。当社のホテル TV はこれまでも、湿気やほこりなどから電子基板を保護するコンフォーマルコーティングを採用し、耐久性の向上を図ってきました。しかし近年、温泉地や火山周辺地域など硫黄ガスの影響を受けやすい環境で利用する宿泊施設のお客様から、さらなる耐久性強化を求める声が寄せられていました。

そこで当社は、こうした日本市場特有のニーズに対応するため、新モデル「UJ660H」において、従来のコンフォーマルコーティングに加え、硫黄ガスによる腐食への耐性を強化した独自コーティングを採用しました。さらに、ホテル向けソリューション「Pro:Centric Hub」や独自セキュリティ機能「LG Shield」を標準搭載することで幅広い宿泊施設における運営効率の向上と、快適な宿泊体験の提供を支援します。

【「UJ660H」の主な特長】

製品ページ: <https://www.lg.com/jp/business/digital-signage/hotel-tv/65uj660h0jd/>

■日本市場の宿泊施設ニーズに応える高耐久設計と、客室に溶け込むデザイン

このたび発売する「UJ660H」は、都心部のホテルや海沿いのリゾート施設だけではなく、温泉地や火山周辺地域など硫黄成分の影響を受けやすい環境での利用にも配慮した独自のコンフォーマルコーティングを採用しています。

また、本モデルは、65 インチ・55 インチ・50 インチ・43 インチの 4 サイズをラインナップし、客室の広さやレイアウトに応じて選択いただけます。筐体にはスリムなメタリックボディーを採用し、洗練されたデザインが客室空間に自然に溶け込み、モダンで上質な滞在空間を演出します。



■スタンドアロンで多彩なコンテンツ体験を実現する「Pro:Centric Hub」を標準搭載

本モデルは、多彩なコンテンツへのアクセスとホテル運営支援機能を実現するスタンドアロン型ソリューション「Pro:Centric Hub」を標準搭載しています。LG の家庭用テレビと同等の直感的なユーザーインターフェースを採用。Netflix や Prime Video、FOD、U-NEXT、YouTube、ABEMA などの多彩なエンターテインメントコンテンツをお楽しみいただけます。なお、Netflix に関しては、同社がホテルTV 向けに推奨するガイドラインに準拠しています。また、Google Cast にも対応しているため、ゲストは自身のスマートフォンやタブレットのコンテンツを客室テレビの大画面で楽しむことができ、より自由度の高い視聴環境を提供します。

さらに、チェックアウト時には動画配信サービスのログイン情報や利用履歴などの個人情報情報を自動的に初期化する機能を搭載しています。宿泊施設の運用負荷を軽減するとともに、ゲストが安心して利用できる環境づくりに貢献します。



■運用コストの低減と長期安定運用に貢献する省電力設計

宿泊施設の運営において、電気代をはじめとするユーティリティコストは、施設全体の運営コストを左右する重要な要素の一つです。「UJ660H」は、省電力性能に配慮した設計により、客室における電力消費の抑制に貢献。宿泊施設の運営コスト最適化を支援します。

また、省電力化は消費電力の削減だけでなく、製品の内部部品への熱ストレスや負荷の軽減にも寄与します。これにより、テレビ本体の長期にわたる安定稼働に寄与し、ホテル TV に求められる継続的かつ効率的な運用に貢献します。

■LG 独自のセキュリティ機能「LG Shield」を搭載

宿泊施設では、ネットワーク接続機器やデジタルサービスの拡大に伴い、システムの安全性とセキュリティ対策の重要性が高まっています。「UJ660H」は、LG 独自のセキュリティ機能「LG Shield」を搭載し、ホテル運営に求められる信頼性の高い ICT 環境の構築を支援します。



■運営スタイルに応じて選択できるホテル向け管理ソリューション(オプション)

「UJ660H」は、標準搭載の「Pro:Centric Hub」に加え、ホテルの運営ニーズに応じて選択できるオプションソリューション「Pro:Centric Cloud」および「Pro:Centric Direct」に対応しています。いずれも客室テレビのコンテンツ管理やメッセージ配信・更新、館内案内、UI カスタマイズなどを行うことができ、より積極的なホテル独自の情報発信やゲストコミュニケーションの強化を支援するものです。「Pro:Centric Cloud」はクラウドベースで遠隔管理や複数施設の一元管理に対応し、「Pro:Centric Direct」はオンプレミス環境で高い安定性と柔軟な運用を実現。施設の運用方針やシステム環境に応じた最適な管理方式を選択できます。

【ホテル・旅館事業者向け製品体験イベントを開催】

当社は、このたび発表したホテル TV 新モデル「UJ660H」をはじめとするホスピタリティ業界向けの製品・ソリューションを実際にご体験いただける宿泊施設関係者向けの製品体験イベントを開催します。当日は、製品展示やデモンストレーションに加え、ホテル向けソリューションや運用提案、ネットワーキングパーティーなどを予定しています。

<概要>

イベント名称	LG Connect Tokyo 2026 ～Hotel TV Solutions～
開催日時	2026 年 10 月 23 日 (金) 14:00～20:00
会場	TAKANAWA GATEWAY Convention Center 6F Conference Hall A1 (〒108-0074 東京都港区高輪 2-21-2)
対象	ホテル・旅館・宿泊施設関係者
参加費	無料(事前登録制)
申込方法	以下のフォームに必要事項を入力の上、お申込みください。 https://b2bmkt.lge.com/lg_connect2026_jp_registration ※定員になり次第、締め切らせていただきます。
お問い合わせ	LG エレクトロニクス・ジャパン jpn-signage@lge.com または、JTB商事 営業戦略課 1014@jtbtrading.jp

※本仕様は予告なく変更される場合があります

※画像はすべてイメージです

※本リリースに掲載されている社名、製品名、技術名は各社の商標または登録商標です

■ブランドスローガン「Life's Good」に込めた想い

「Life's Good」という LG エレクトロニクスのブランドスローガンは、消費者のニーズが多様化する中、より良い生活のため「世界中のお客様をワクワクさせ、感動を提供する」という想いを象徴的に表現しています。LG エレクトロニクスはこのスローガンのもと、革新的なスマートソリューションを通じた「Innovation for a Better Life」というミッションを掲げ、主役であるお客様の日常をより豊かに、より健やかに、より創造的なひとときを堪能する喜びをもたらしてまいります。また、持続可能な社会の実現に向け、循環型社会の構築に着手しています。2030 年までに、二酸化炭素排出量を 50%削減(2017 年比)し、2050 年までに再生可能エネルギーに完全移行することを公約とし、炭素排出量の削減や環境に配慮したエコプロダクト設計の製品を通して、国際的な責任を果たしてまいります。

■LG エレクトロニクス・ジャパン株式会社概要

社 名: LG Electronics Japan 株式会社 (LG Electronics Japan Inc.)
本 社: 〒104-8301 東京都中央区京橋 2-1-3 京橋トラストタワー15 階
U R L: <https://www.lg.com/jp/>
設 立: 1981 年 1 月
代 表 者: 代表取締役 孫 成周(ソン・ソンジュウ)
事業内容: LG エレクトロニクス製品の日本向け輸入販売業。
テレビ、モニター、ノートパソコン、ホームプロジェクター、衣類ケア家電、空気清浄機、衣類乾燥除湿器の販売、デジタルサイネージ事業、車載用機器やソリューション事業等。

■LG エレクトロニクスについて

LG エレクトロニクスは、家電をはじめとするテクノロジーのグローバルイノベーターとして、世界中に事業拠点をもち、75,000 人以上の従業員を擁しています。

「ホーム・アプライアンス・ソリューション」、「メディア・エンターテインメント・ソリューション」、「ビークル・ソリューション」、「エコ・ソリューション」の 4 カンパニー制で、2025 年の世界売上高は約 89.2 兆ウォン(KRW)。テレビ、生活家電、エア・ソリューション、モニター、車載用機器やソリューションにいたるまで、消費者および業務用製品を製造する世界有数の総合家電ブランドとして、お客様の生活を Life's Good にするための提案をし続けています。